



### 行田産マンゴーにかける夢

#### 細井 清さん (59歳・犬塚)

「宮崎産に負けないくらい、飛び切りおいしいマンゴーを行田で作りたい」壮大な夢を抱きながらマンゴー栽培に奮闘しているのが、農業を営んでいる細井清さんです。

園芸が趣味だった細井さんは、26歳のときに会社を退職し、農業で生計を立てていくことを決心しました。自宅の敷地内にガラス張りの温室ハウスを建設し、胡蝶蘭やカトレアなどを切花として販売したそうです。また、仕入れた花を培養して大量生産を図ることも挑戦。専門書を何十冊も読んだり、農業高校の先生に培養方法を教えてもらったりして、知識を深めていきました。試行錯誤を重ね、ようやく成果が現れたのは挑戦から約3年後のことでした。「今こそ、花の培養は定着してはいますが、当時は画期的な技術として脚光を浴びたんですよ」と笑顔で語ります。



現在、細井さんが夢中になっているのがマンゴーの栽培です。東国原前宮崎県知事がマンゴー

をPRしている姿をテレビで見たとをきっかけに、7年前から始めました。「マンゴーは、気候が暖かい地域で盛んに生産されている果物。行田も暖かくなっているのだから必ずできる」と素人ながらも確信があったそうです。

しかし、「行田でマンゴーなんか栽培できるわけがない」周囲からそんな声が聞こえていたのも事実でした。それでも信念を曲げず、専門書を片手にマンゴー作りに励む日々を過ごした細井さん。大切に種から育てた苗を枯らさないように、冬場のハウス内の温度管理には特に気を配りました。また、主に果樹や花木で使われる繁殖方法「接ぎ木」を学ぶため、久喜市にある農林総合研究センター園芸研究所に何度も足を運びました。

ゼロから始まったマンゴー作りですが、実を結んだのは挑戦から5年目のことでした。初めて大きな実がなったのです。期待と不安を抱えながら試食してみると、マンゴーの豊かな香りと濃厚な甘みが口いっぱいに広がったそうです。そのときのことを「涙が出そうなくらいうれしかったね」と話します。

マンゴーの栽培には、ミツバチなどによる交配が必要不可欠です。現在、交配方法の研究に力を入れている細井さんは「今、ハウス内に約500本の苗木がありますが、交配方法が確立できれば、完全したマンゴーが大量にできるはず。そうしたら『のぼうマンゴー』なんていうネーミングで商品化したいな」とうれしそうに語ります。行田産のマンゴーが皆さんの食卓に並びその日まで、細井さんの挑戦はこれからも続きます。

### 私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で広報広聴課へ応募ください。

俳句	南河原 若林 水翁	琴の音のひびく川面に花筏	持田 伊藤 洋子
一点に迷ひはあらず落雲雀	須加 長谷 恒	雪やなぎ風に吹かれて誰誘う	城西 新井 禮子
大利根の水面流れる花筏	荒木 今井喜久江	いつまでも会話はすみし花見膳	向町 茂木 咲子
亡き母の命日近し牡丹咲く	渡柳 川田 静江	路地ともすうすう紅色の花水木	佐間 矢澤喜美江
青き空桜葉降る城下かな	谷郷 豊田 蓮里	カタクリや万葉集に想い馳せ	持田 小倉 繁三
妻自慢指黒くして句のフキ	埼玉 萩原 初江	筍を酒のつまみに初夏の夜	天満 青柳 欣吾
花つつみよさこい乱舞の宴かな	持田 田子 敏枝	子にもらう少し若めの花衣	持田 二瓶 弘子
カーネーションあげたき人は会えぬ人	城西 西田吉之助	教会の空へ風船慶き日かな	野 川名久美子
長蛇でき何処へ続く蟻の群れ	持田 田中 和夫	白鳥の帰りし沼に桜咲く	城西 八木橋近蔵
山桜秩父の山を薄化粧	城西 鈴木 正夫	庭に咲く子でまり優し母恋し	長野 吉野 らん
老桜の枝垂れて咲けり満願寺		(三沢 一水 監修)	

## はじめまして



### 平成25年8月生まれのお子さんを募集します

○6月2日月～30日月に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318)  
※応募要領は市ホームページをご覧ください。  
○応募者多数の場合は、7月3日(休)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



★★★ 平成25年6月生まれのおともだち ★★★



栗田 彩愛ちゃん(若小玉) 平成25年6月10日生まれ 父・正之さん 母・宏美さん 「我が家のアイドル♡」



村上 由晟ちゃん(堤根) 平成25年6月9日生まれ 父・和男さん 母・幸世さん 「ゆづくん笑顔、最高☆」



吉野 結海ちゃん(南河原) 平成25年6月9日生まれ 父・統一さん 母・佐江子さん 「お兄ちゃん♡ なかよくね♡」



新井 涼音ちゃん(前谷) 平成25年6月24日生まれ 父・宏明さん 母・美紀子さん 「明るく元気な女の子になくれ!」



代 杏璃ちゃん(持田) 平成25年6月26日生まれ 父・宗明さん 母・愛子さん 「夢璃と仲良く 元気に育ってね♡」



松本 颯ちゃん(桜町) 平成25年6月19日生まれ 父・和仁さん 母・奈保子さん 「何でも食べる、 美味しい坊嬢君☆」

## ぎょうだの会社を クローズアップ!!

## 大岡産業株式会社

### 不織布を通して豊かな生活を実現



#### 会社プロフィール

代表取締役 大澤 誠  
【事業内容】 不織布製造販売

自動車、マンション、ホテル、シャツの襟、ジャケットの肩パッド、ふんの中綿、空調用フィルター、マスクやおむつなどの衛生用品…。これらには全て「不織布」が使用されています。今月は、私たちの生活に密接な関わりを持つ不織布を製造・加工している大岡産業株式会社を紹介いたします。不織布とは、文字通り織らない布のことです。繊維を一定の方向などに重ね、接着樹脂や機械的な方法で結合させて作ります。質の高い製品をより効果的に、そしてコスト削減を意識して、製造および製品開発に取り組む同社は、これまで積極的に設備投資を行ってきました。現在6つの製造ラインが稼働していますが、これらは全てコンピューターで制御されているそうです。大澤誠社長は「新しい設備を導入したことにより、多種多様で、なおかつオリティーの高い製品を安定的に供給することが可能となりました。また、大量に生産できる体制も整ったので、国内の大手企業や海外の企業との取引が増えましたよ」と笑顔で語り

ます。同社は今年、創業55周年を迎えますが、これまで一貫して「人々の生活を豊かにしたい」という思いで新たな製品や活用方法を生み出し、生活・産業・医療衛生などさまざまな分野に進出して実績を上げてきました。「現状に満足することなく、新たな可能性を追求していく社風がわが社の強みです」と大澤さんは語ります。そして今、大きなビジネスチャンスとして位置付けているのが、6年後に開催される東京オリンピックです。特に都内では、開催に合わせてホテルなどの施設のリニューアルや建設計画が始まっており、マンション、ホテル、インテリア資材や寝具などに使用する不織布の注文が増えてきているそうです。今後、さらなる発展が期待される同社。中小企業でしかできない細やかなサービスや商品を、これからも変わらずに提供し続けるとともに、特徴あるオリジナルの不織布を作り出すことで、さらなる活躍の場を広げていくことでしょう。

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。 特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。